



ラーニング・アドバイザーがおすすめる…

租税法

日本国民の三大義務は、①「教育の義務（26条2項）」②「勤労の義務（27条1項）」③「納税の義務（30条）」があります。

その中でも、特に社会人になってから重要となってくる③「納税の義務」に関わる法律である「租税法」について取り上げていきます。

発行：2021.6

和歌山大学図書館

作成：ラーニング・アドバイザー
(経済学研究科)

1. はじめに/イントロダクション

1-1. 「租税法」とは？

まず、「租税」とは、国家あるいは地方公共団体が、一般的経費に充当する目的で、直接的に対価を提供することなく、財政権に基づいて強制的に賦課・徴収する金銭またはほかの形態の財をいいます。「税」や「税金」ともいい、こちらの方がよく耳にしたいと思います。

何のルールもなしに勝手に徴収されているのではなく、法律の根拠がなければ賦課も徴収もされません（租税法律主義）。また、同じ税負担能力を持つ者は同様に課税され、より高い税負担能力を持つ者はより重く、より低い税負担能力を持つ者はより軽く課税されなければなりません（租税公平主義）。

このような「租税」について取りまとめているのが「租税法」です。といっても、実際には「租税法」という法律はありません。租税に関する法規の総称です。簡単に、国税通則法、所得税法、法人税法、消費税法、相続税といった法律をひとまとめにしている法律ということです。これらを体系的に学んでいく学問です。

学習にあたっては、第一歩として小中高生向けではありますが、国税庁のホームページ『税の学習コーナー』（<https://www.nta.go.jp/taxes/kids/index.htm>）で税のしくみや種類の基礎の基礎について学んでおくところからの学習がしやすいかもしれません。

1-2. 一般向けに書かれた資料・読み物

◆ 『ベーシック租税法』（第2版）土屋重義他、同文館出版、2017

（配架場所：2F 開架図書 請求番号：345.12||TS 書誌ID：1000437219）

「ベーシック」と名前がついているだけあって大きくまとめてあり、基本的な内容である。文字が小さいとかページ数が多いわけでもなく、取っつきやすい本。

◆ 『演習ノート 租税法』（第3版）中村芳昭、三木義一他、法学書院、2013

（配架場所：2F 開架図書 請求番号：345.12||NY 書誌ID：1000457558）

代表的な判例等が問題、論点、構成の順で記載されている。後ろで紹介している『別冊ジュリスト 租税判例百選』（有斐閣）より1つが短くて読みやすいが、その分深く学ぶには他の文献が必要になる。

2. 学習用資料

2-1. 事典・ハンドブック類

◆ 『別冊ジュリスト 租税判例百選』(第6版)中里実、佐藤英明他,有斐閣,2016

(配架場所: 2F 開架図書 請求番号: 345.19||S 書誌ID: 1000434660)

経済学部の税法科目で扱うこともある。代表的な判例が取り上げられている。判旨についての解説がついていて、判例の意義や何が争点なのかがわかりやすい。(時々、論点がずれているものもある...)

◆ 『税法の読み方 判例の見方』(改定新版)伊藤義一(TKC出版)

(配架場所: 2F 開架図書、請求番号: 345.12||IY、書誌ID: 1000403861)

税法を学ぶ上で必要な税法、判例の読みこなし方が学べる。

2-2. 最初に読むべき資料: 代表的な教科書・基本書・古典

◆ 『租税法』(第23版)金子宏(弘文社)2019

(配架場所: 2F 開架図書、請求番号: 345.12||KH、書誌ID: 1000448939)

租税法を勉強している人なら必ず目にする本。意義や学説等もよく引用もされている。著者も租税法界では有名な学者である。

◆ 『図解 租税法ノート』(第11版)八ツ尾順一(清文社)2018

(配架場所: 2F 開架図書、請求番号: 345.12||YZ、書誌ID: 1000457532)

図や表で解説されていて、文章だけではわかりにくい構造や仕組みが理解しやすい。

◆ 『租税法入門』(第2版)増井良啓(有斐閣)2018

(配架場所: 2F 開架図書、請求番号: 345.12||MY、書誌ID: 1000457612)

所得課税中心の本。現行法の背景にある政策等も紹介している。

◆ 『ケースブック租税法』(第5版)金子宏、佐藤英明、他(弘文社)2017

(配架場所: 2F 開架図書、請求番号: 345.19||KH、書誌ID: 1000437267)

新しい法改正、重要な判例等を取り入れ、ボリュームのあるページ数でしっかりと取り組める。検討事項も掲載されており、より深く思考することができる。

2-3. 最新情報が確認できる資料: 主な Web ページ

◆ 国税庁 HP/国税庁

(<https://www.nta.go.jp/>)

日本の行政機関である国税庁が運営するサイト。税や申告の情報、法令はもちろん、税務大学の教授が作成した論文等も掲載されている。

◆ WestLaw Japan/ウエストロー・ジャパン

(<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/collections/db.html>)

代表的な法律情報データベースのひとつ。通常は有料のサービスであるが、本学は契約しているため、学生は学内ネットワークから無料で利用することが可能。

(大学図書館ウェブページよりリンクあり)

◆ 裁判例情報/裁判所

(http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1)

主要裁判例のほとんどを検索することが出来る。判決日やどの級審が分からない場合であっても、関連ワードから検索可能。

3. より深く学習したい方向けに

3-1. 専門書や応用の資料

◆ 『租税法』（第23版）金子宏（弘文社）2019

(配架場所：2F 開架図書、請求番号：345.12||KH、書誌ID：1000448939)

「2-2.最初に読むべき資料」でも取り上げたが、内容のボリュームが多いため、より深く学ぶ専門書でもある。辞書的に使うこともできる。

◆ 税制関係パンフレット/財務省

(https://www.mof.go.jp/tax_policy/publication/brochure/)

最新の税制改正についてのpdfが掲載されている。pdfも要件がまとめてあり、図や表で説明されているためわかりやすい。税法より税制の内容なので少しずれるが、関連として学ぶと良いかもしれない。

◆ 『税務大学校論叢』税務大学校

(配架場所：3F 大学紀要、請求番号：せ||080、書籍ID：3000011585)

税務大学校研究部教授等が執筆した租税・税務会計等に関する研究論文、判例研究、租税資料紹介等が収録されている。租税法関係で論文を書く人は、読まざるを得ない。

★本文中で紹介されている図書の探し方★

和歌山大学図書館トップページのOPAC検索窓に、
10桁の書誌IDを入力して検索してください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/> 和歌山大学図書館

